

エコフリース 施工説明書

壁紙施工の前に必ずご一読ください。

- 1) 商品到着後、外箱に外傷がないことをご確認ください。万が一ございましたら早急にご連絡ください。
- 2) 表面に色ムラや汚れがないことをご確認ください。
- 3) 製品の特性上、色違い、質感等、サンプルと若干違う場合もございます。ご了承ください。品質に問題がある場合は施工前にご連絡ください。
- 4) 同一面に施工される場合、商品ロット番号が同一のものをご利用ください。
- 5) 商品は内側が仕上げ面です。
- 6) 縦置きされますと端がつぶれる場合がございます。保管は高温多湿、直射日光を避けるようにしてください。
- 7) 現地の下地状況に合わせ平滑になるように下地処理を行ってください。
張替の場合、張替前の裏紙を残しますとエコフリースが浮く原因となりますのでご注意ください。
合板、モルタル下地等、灰汁の心配のある下地にはシーラー処理が必要です。また石膏ボードの下に灰汁を発生するものもございます。ご注意ください。
- 8) エコフリースは伸び縮が少なく強度がある壁紙です。出隅などコーナーは真っすぐな90度のコーナー下地作りをお願いします。浮きの原因となります。
- 9) 施工糊はエチレン酢ビボン入り、原液タイプのものご使用ください。(推奨:ウォールボンド100)
塗り替えが想定される場合は接着力の強いものをお使いください。(推奨:ウォールボンド200)
- 10) エコフリースは寸法安定性に優れますので、糊付けしたのから順次施工してください。
オープンタイムは基本必要ありませんが、少し放置していただくと柔らかくなり施工しやすくなります。
糊付け後はクロスパックに入れ、糊の水分の蒸発を避けてください。
- 11) 表面に糊が付着した場合は固く絞ったスポンジ等ですばやく拭き取り、再度乾いたウエスで拭いて下さい。
艶がない壁紙のため、拭き残しがありますと非常に目立ちます。また変色の原因となります。
- 12) 施工中、手に塗料が付く場合がございますが、余分に付着した塗料ですので製品上問題ございません。
- 13) 折りシワが付きますと取れなくなりますのでご注意ください。
- 14) 突き付け施工をお勧めします。合わせ切りする場合は、石膏ボードに和紙テープを貼り、紙の目開きを防いでください。
入隅は廻し貼りをせず、カットしてください。
- 15) 硬い樹脂ローラーで押し付けられますと若干光沢が出ます。やわらかいローラーで施工してください。また、金属ヘラ等硬いものを使用されますと黒い線が付きますので樹脂ヘラ等柔らかい物をご使用下さい。
- 16) 同様に毛の硬い撫ブラシもツヤ差等の原因になります。柔らかい物をご使用下さい。
- 17) 施工後の急激な乾燥は避けてください。
- 18) 3幅ほど施工された状態で一度ツヤ差、左右差等ご確認ください。万が一商品に異常がある場合には施工を中断していただき、ご連絡をお願いします。
- 19) コーキングは専門メーカーにて色合わせしたものをお使いいただくことをお勧めします。
- 20) メンテナンスの方法はビニールクロスと異なります。メンテナンスガイドにてご確認ください。

エコフリースはホルムアルデヒド規制対象外品として、国土交通大臣の認定を受けています。

国土交通大臣認定番号 MFN—3507 F☆☆☆☆

エコフリースは基材との組み合わせで、国土交通大臣より防火材料の認定を受けています。

不燃認定番号 NM—0223 下地材:不燃材料(金属板を除く)

準不燃認定番号 QM—0135 下地材:準不燃石膏ボード

